

ほっ

と通信 すみよしGO!



府中市立住吉小学校
校長 木下 和紀
主任養護教諭 館山 千幸

朝夕の気温が一段と涼しくなる一方で、日中の晴れた日の日差しはちょっと暑いかな?と思うような寒暖差のある気候となっています。秋雨前線や台風が近づいたり通過したりするごとに、まさに“一雨ずつ”季節の進むころとなりました。

朝、ご家庭から登校するときの気温と、日中の活動している時間帯の気温差が大きくなるため、衣服で調節することがとても大切です。お子さんが登校する際、「暑くなったら、上着は脱ごう」「汗をかくようなら、長袖は脱いで半袖になろう」など、その日の気温に合わせてお洋服での工夫を具体的にお声掛けいただけすると、お子さんが自分で考えて行動する手助けになります。

お子さんの状況に合わせ、調節のしやすいお洋服を選ぶことを心がけ、脱いだお洋服が迷子にならないように、記名の確認もよろしくお願いします。



○これから保健行事予定○

◎(就学時健診) 10月22日(水) 下校時刻が異なりますので、確認をお願いします。

◎秋の歯科健診(全学年) 11月19日(水):1・3・4年生 26日(水):2・5・6年生

※むし歯の有無のみ確認する方法で実施します。前日の就寝前と、当日の朝食後の歯みがきを済ませてから登校させてください。



☆秋の虫、要注意です!☆

夕方涼しくなるころに、鈴虫やコオロギなどの風情のある虫の声が聞こえてくるようになりました。同じ虫でも、刺されてしまうと感染症を媒介したり、毒性の強かったりする虫たちもまた、動きが活発になる季節です。適切な対策を知り、危険な目に合わないようしましょう。

○いつもの“蚊”があぶない○ (幼虫対策: 東京都保健医療局健康安全部環境保健衛生課指導担当 資料より抜粋)

産卵・越冬のために、吸血行動が活発になります。そのため、感染症を媒介する機会も増え、デング熱・ジカウイルス感染症などにかかることがあります。特別な治療法が現在はないので、症状に合わせた対症療法となります。

蚊に刺されないために、虫よけや肌の露出が少ない服装での工夫をするとともに、蚊を増やさないための幼虫対策がポイントとなります。



○スズメバチは秋が一番凶暴化する時期○

餌となる虫が減るこの時期は、食糧確保のための動きが活発になります。

また、女王蜂を羽化させるための子育て期間に当たるため、周囲への警戒心もMAXです。

倒木の中や土の中に巣がある場合には、見た目で巣を見つけることが難しいうえに、大きな音や大人数の足音による振動がハチへの刺激になります。

ハチは嗅覚が優れているため、香水などの強いにおいも刺激となります。また、黒い色に反応して攻撃をする性質があるため、黒い服を避けたり髪の毛はなるべくまとめ、暗い色を避けた帽子をかぶったりするなどの対策が有効です。



◎10月の保健目標○ けがを防止しよう

- ・大きなけがをしないよう、落ち着いて行動しよう。
- ・体調を崩した後、回復してすぐだと身体が思うように動かないことがあります。
“病み上がり”の頃の行動は、特に気を付けよう。
- ・大人の“けがをしないための注意や指示”をよく聞いて、安全に行動しよう。

